

2011年(平成23年)10月期 期末決算説明資料

株式会社ソフトウェア・サービス

代表取締役社長 宮崎 勝

経営管理部長 伊藤 純一郎

留意事項

このプレゼンテーション資料は、PDF形式で
当社ホームページ『財務/IR情報』に掲載します。

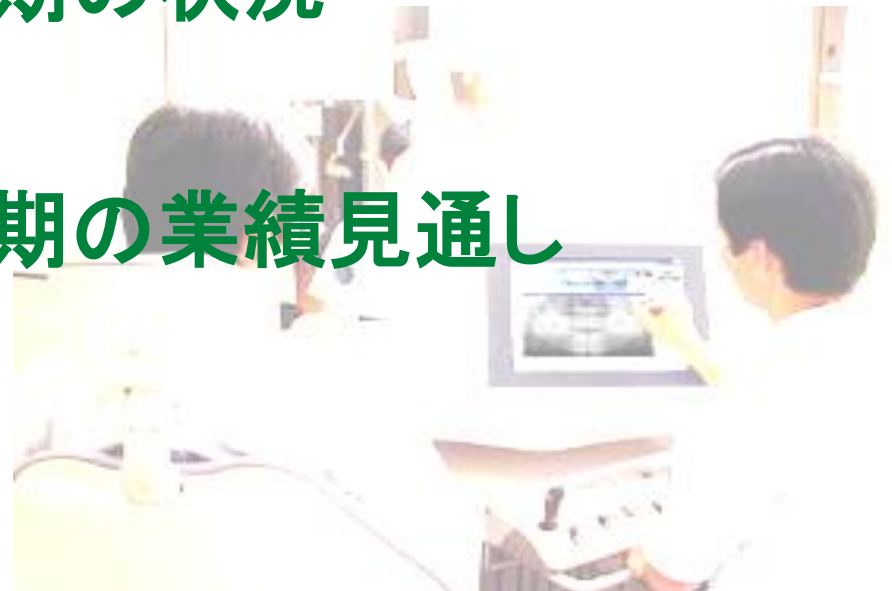
URL <http://www.softs.co.jp/ir/index.html>

このプレゼンテーション資料には、2012年1月11日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。国内外の経済環境・競争状況の変動等にかかわるリスクや不確定要因により実際の業績が記載の予測と大幅に異なる場合があります。

※このプレゼンテーション資料の金額は切り捨てで表示しています。

アジェンダ

1. 会社紹介
2. 業界動向
3. 平成23年10月期の状況
4. 今後の戦略
5. 平成24年10月期の業績見通し
6. 質疑応答



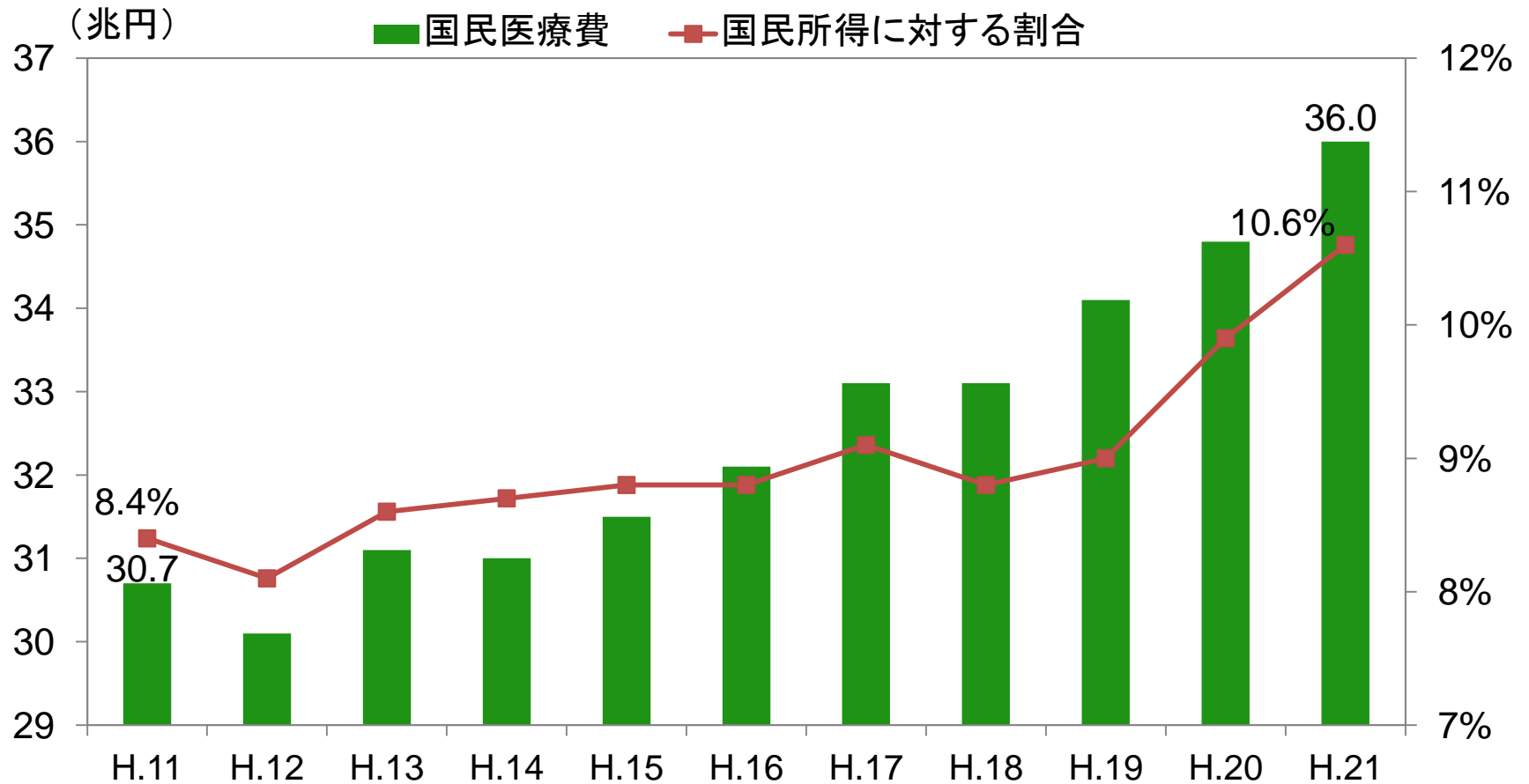
1. 会社紹介

会社概要

- 社名 株式会社ソフトウェア・サービス
- 所在地 本店：大阪市淀川区西宮原1-7-38
本社：大阪市淀川区宮原4-2-30（平成20年5月19日移転）
- 設立 昭和44年4月
- 従業員 554名（平成23年10月31日現在）
- 資本金 847百万円（ジャスダック上場・平成16年2月20日）
- 事業内容 医療情報システム（専門特化）の開発・販売・指導・保守
- ユーザー 310ユーザー <うち電子カルテユーザー：234 >（H23.10現在）
- 特徴
 - ①専門特化
 - ②創造価値
 - ③自主独立⇒この3原則により「医療」「システム」の膨大なノウハウを蓄積し、「高品質・高機能」「適正価格」「顧客満足向上」を実現

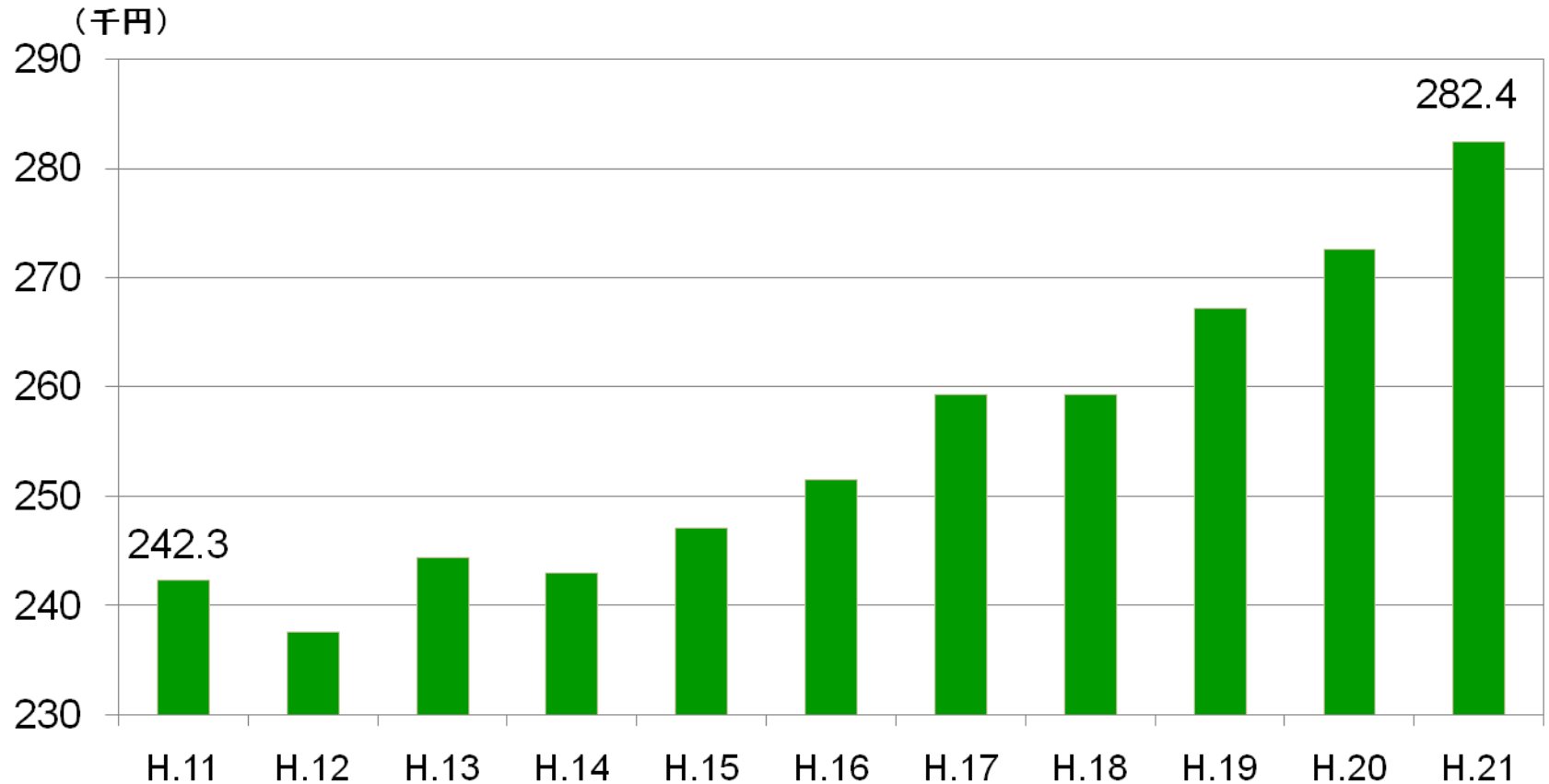
2. 業界動向

国民医療費と国民所得に対する割合



※厚生労働省「平成21年度国民医療費の概況」

人口1人当たりの国民医療費



※厚生労働省「平成21年度国民医療費の概況」

膨張の一途の国民医療費

- 国民が1年間に使った医療費の総額を示す国民医療費が、2009年度に36兆67億円となり、過去最高を記録した（前年比約1兆2000億増）。
 - ⇒ 高齢化と医療技術の進歩によるコスト増が押上げ。
 - ⇒ 一人当たり医療費も、28万2400円で過去最高。
 - ⇒ 若年層を含む全世代で医療費は増加。

- 財政難は顕著。
 - ⇒ 消費税率引き上げ論の大きな原因。

社会保障と税の一体改革案

- 一層の少子高齢化が進む中で、将来世代に負担を先送りしている状況を改める。



<サービス提供>

- ⇒どこでも適切な医療サービスが受けられる社会。
- ⇒予防接種や検診等の疾病予防を進める。

<財政面>

- ⇒国民健康保険の低所得者の保険料を軽減。
- ⇒高額療養費制度の拡充。
- ⇒70～74歳の窓口負担を1割から2割へ引き上げ。
- ⇒外来患者に1回100円の上乗せ負担etc

平成24年度 診療報酬改定

- 2025年のあるべき医療・介護の姿を念頭に。
 - 薬剤費約5500億円の引き下げ分を、診療報酬本体部分(医師の技術料)の拡充にあてる。
- ⇒ 診療報酬の総額をプラス0.004%とした。
- ⇒ 負担の大きな病院勤務医等の医療従事者の負担軽減・処遇改善の推進。

業界状況まとめ

■ 医療機関のIT化

- ・高齡化等に伴う医療費の増大、財政の悪化を受けて、医療の効率化・コスト削減は必須であり、地域医療の充実のためにも、IT化はかかせない。
- ・医療ITを活用した病診連携により、検査等の重複が減り、またスムーズな受診がおこなわれることは、「医療費削減」「予防医療」につながるとともに、病院経営および患者にとってもプラスである。

3. 平成23年10月期の状況

お知らせ

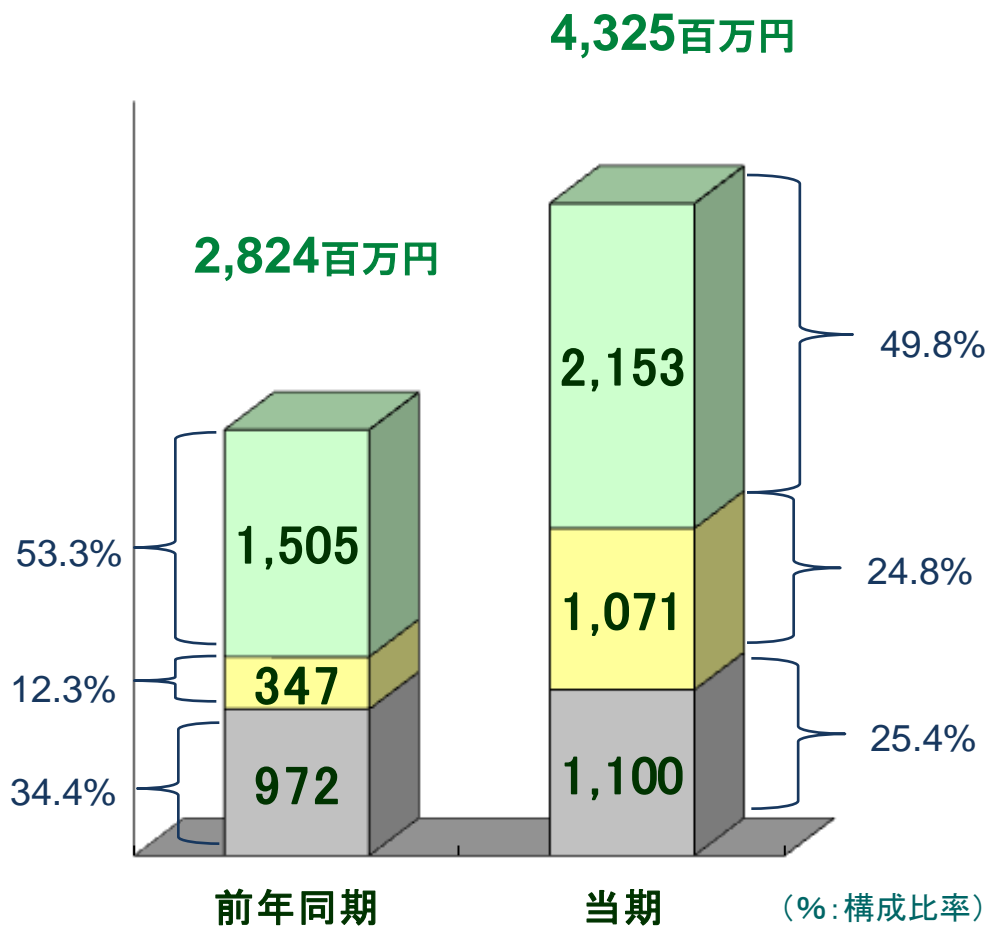
当社は平成23年10月期より決算期を4月から10月に変更しております。当期は6ヶ月間の変則決算となることから、当期の概況は比較を容易にするため前年同期(平成22年5月1日～平成22年10月31日)との比較を一部使用しております。

業績の概要(前年同期比較)

【単位:百万円】

	H22/10		H23/10		増減率
	金額	構成比	金額	構成比	
売上高	2,824	100.0%	4,325	100.0%	+53.1%
売上総利益	927	32.8%	1,362	31.5%	+47.0%
営業利益	445	15.8%	886	20.5%	+99.1%
経常利益	437	15.5%	892	20.6%	+103.8%
当期純利益	254	9.0%	522	12.1%	+105.4%

売上高構成比(前年同期比較)



【総売上高】

1,500 百万円増 (+53.1%)

ソフトウェア売上高

648 百万円増 (+43.1%)

ハードウェア売上高

724 百万円増 (+208.3%)

保守売上高

128 百万円増 (+13.2%)

注()内は増減率

業績の概要(公表数値比較)

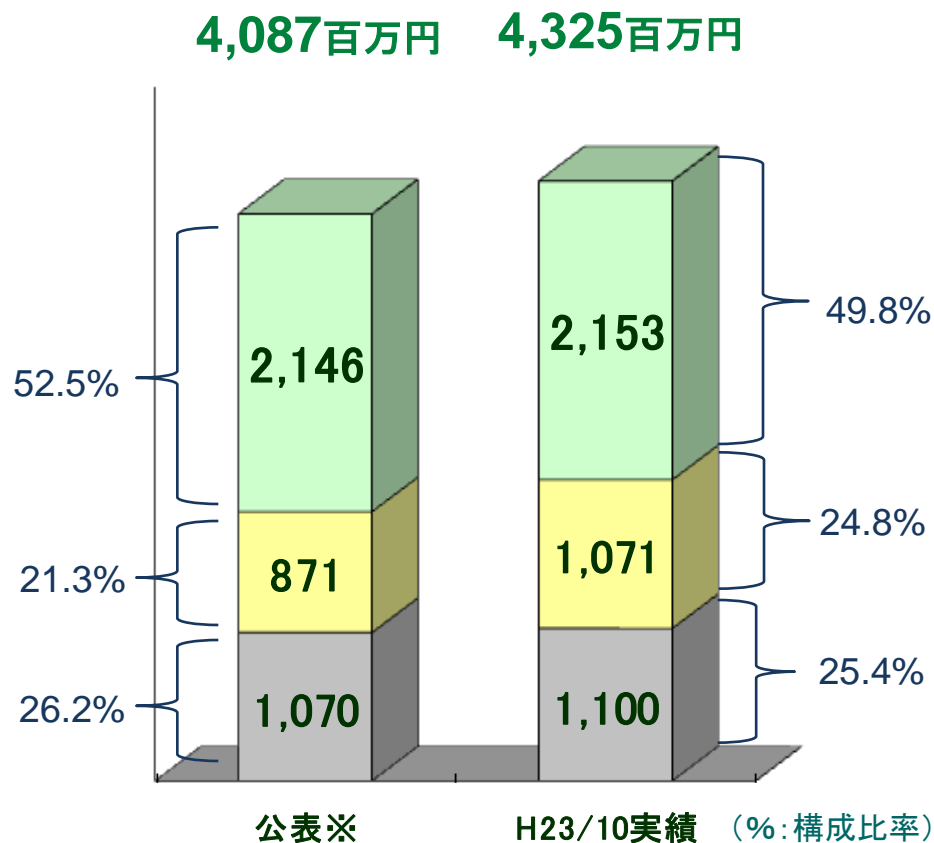
【単位:百万円】

	公表数値 ^(※1)		H23/10 ^(※2)		増減率
	金額	構成比	金額	構成比	
売上高	4,087	100.0%	4,325	100.0%	+5.8%
売上総利益	1,312	32.1%	1,362	31.5%	+3.8%
営業利益	873	21.4%	886	20.5%	+1.4%
経常利益	876	21.4%	892	20.6%	+1.8%
当期純利益	520	12.7%	522	12.1%	+0.3%

※1 平成23年6月10日公表

※2 平成23年12月9日公表

売上高構成比(公表数値比較)



【総売上高】

237百万円 増 (+5.8%)

ソフトウェア売上高

6百万円 増 (+0.3%)

ハードウェア売上高

200百万円 増 (+23.0%)

保守売上高

30百万円 増 (+2.8%)

注()内は増減率

※ 平成23年6月10日公表

43期稼働病院

No	稼働月	病院名	病床数	オーダリング	e-カルテ
1	5月	非公開	456	●	●
2	5月	国際親善総合病院	287	●	●
3	5月	八尾徳洲会総合病院(徳洲会グループ) ※①	415	●	●
4	6月	栗橋病院	314	●	●
5	6月	新武雄病院	135	●	●
6	6月	須賀川病院	114	●	●
7	7月	大阪暁明館病院	332	導入済	●
8	7月	館山病院(徳洲会グループ)	208	●	●
9	7月	湘南鎌倉人工関節センター	19	●	●
10	8月	三重県立総合医療センター(公的)	446	●	●
11	8月	諏訪共立病院	99	●	●
12	8月	松原徳洲会病院(徳洲会グループ) ※①	170	●	●

※① 弊社旧システムからのリプレイス稼働

43期稼働病院

No	稼働月	病院名	病床数	オーダリング	e-カルテ
13	8月	雲南市立病院(公的)	281	導入済	●
14	8月	田上病院	204	●	●
15	8月	安田病院	193	●	●
16	9月	熊本セントラル病院	308	●	●
17	9月	帯広徳洲会病院(徳洲会グループ)	152	●	●
18	10月	福井厚生病院	208	●	●
19	10月	尼崎中央病院	279	●	●
20	10月	汐田総合病院	249	導入済	●
21	10月	非公開	70	●	-
22	10月	非公開	130	●	-

診療所・クリニックはプロジェクトとしてカウントしておりません。

<グループ病院の累計数> 平成23年10月末現在

徳洲会:43病院(全67病院)、セコムグループ:8病院(17病院)

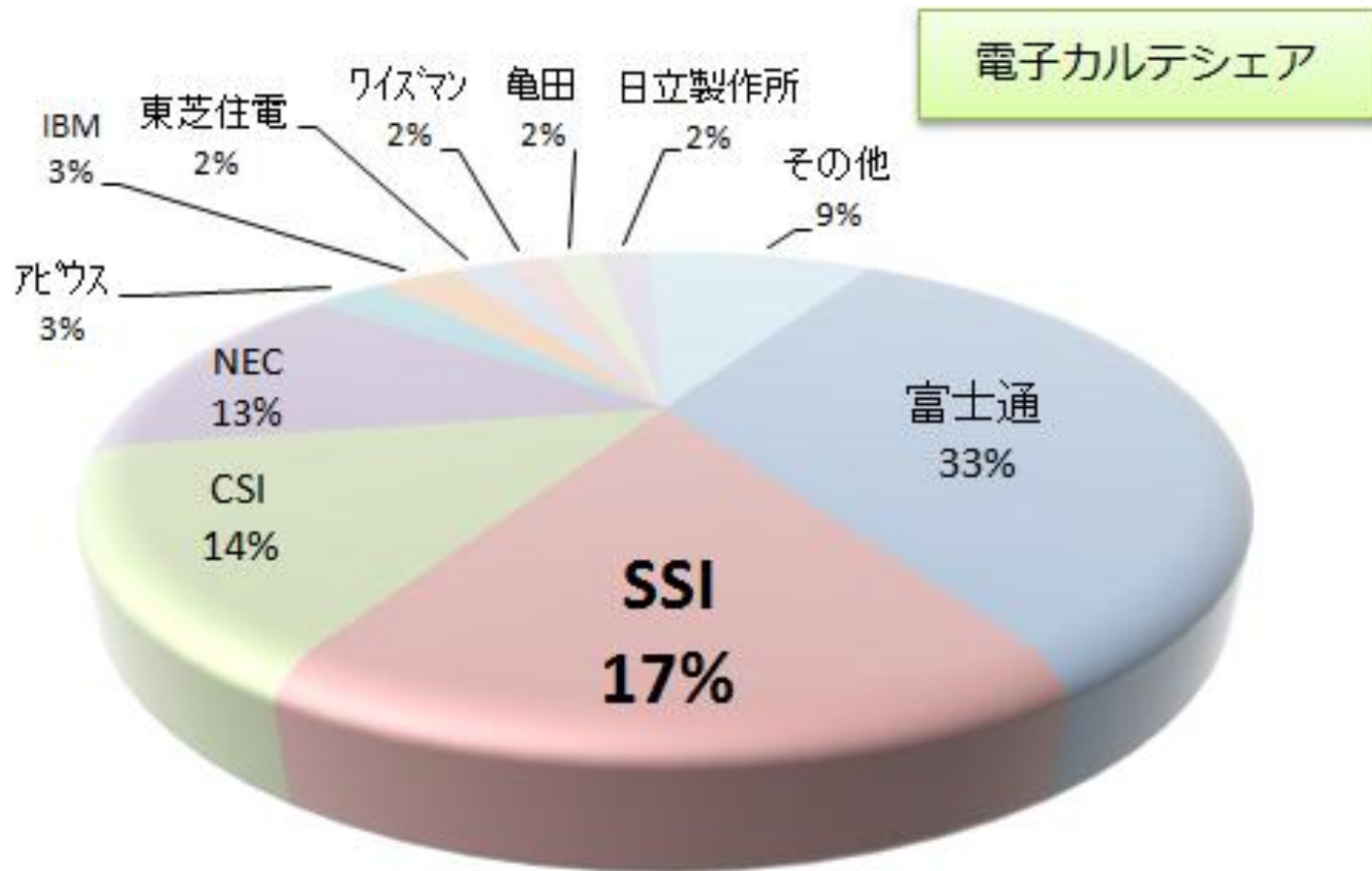
4. 今後の戦略

ユーザーニーズの把握

当社事業の根本・・・

- 自社で一貫・完結する。
- 開発、営業、導入、保守業務といったすべてのフェーズでユーザーと関わる。

マーケットシェア



月刊 新医療「電子カルテ&PACS白書 2011~2012」より

今後の戦略 <拠点拡充>

■ 拠点拡充 ～持続的な成長達成に向けて～

1. 新本社ビル用地購入

⇒ 現在の本社ビルの西側近隣。

(大阪市淀川区西宮原2丁目)

⇒ 土地面積1000坪。 2014年夏頃完成予定。

2. 東京オフィスの開設

⇒ JR浜松町駅徒歩1分(オリックス浜松町ビル)

⇒ 関東圏での営業力強化。

新本社ビル建設予定地



東京オフィス1



東京オフィス2



今後の戦略 <人事>

経営戦略に適合した人材採用・育成計画

計画的な人材採用(新卒100名+キャリア)

2011年4月 50名 2012年4月 100名入社予定

生産性を高めるための取組み

社員能力の適正把握。属人化の排除。

スキルマップの作成による能力の洗い出し

基本情報

社員番号	氏名	所属	グループ	役職	生年月日	入社年月日
		経営管理部		サブリーダー		

略歴

期間	職種	役割	病院名	バージョン	システム	備考
2007年10月～2011年07月	事務					人材開発チーム→採用教育チーム
2006年10月～2007年09月	開発	教育担当				研修担当
2006年10月～2007年09月	開発	システム担当		VB6版	医療安全管理部門	
2007年05月～2007年09月	開発	システム担当		VB6版	看護	クリニカルリーダー
2006年12月～2007年02月	開発	システム担当		VB6版	検体検査部門	検査ラベル

新規入力

接続実績

期間	職種	役割	種類	メーカー	病院	手順	機種	備考
2007年01月～2007年01月	開発	テスト	ナースコール			TCP/IP		
2007年01月～2007年01月	開発	テスト	採血管準備システム			TCP/IP		
2007年01月～2007年01月	開発	テスト	検査ME			シリアル	CA-1500	

新規入力

コンバート実績

期間	職種	役割	病院	コンバート種別	移行元	備考

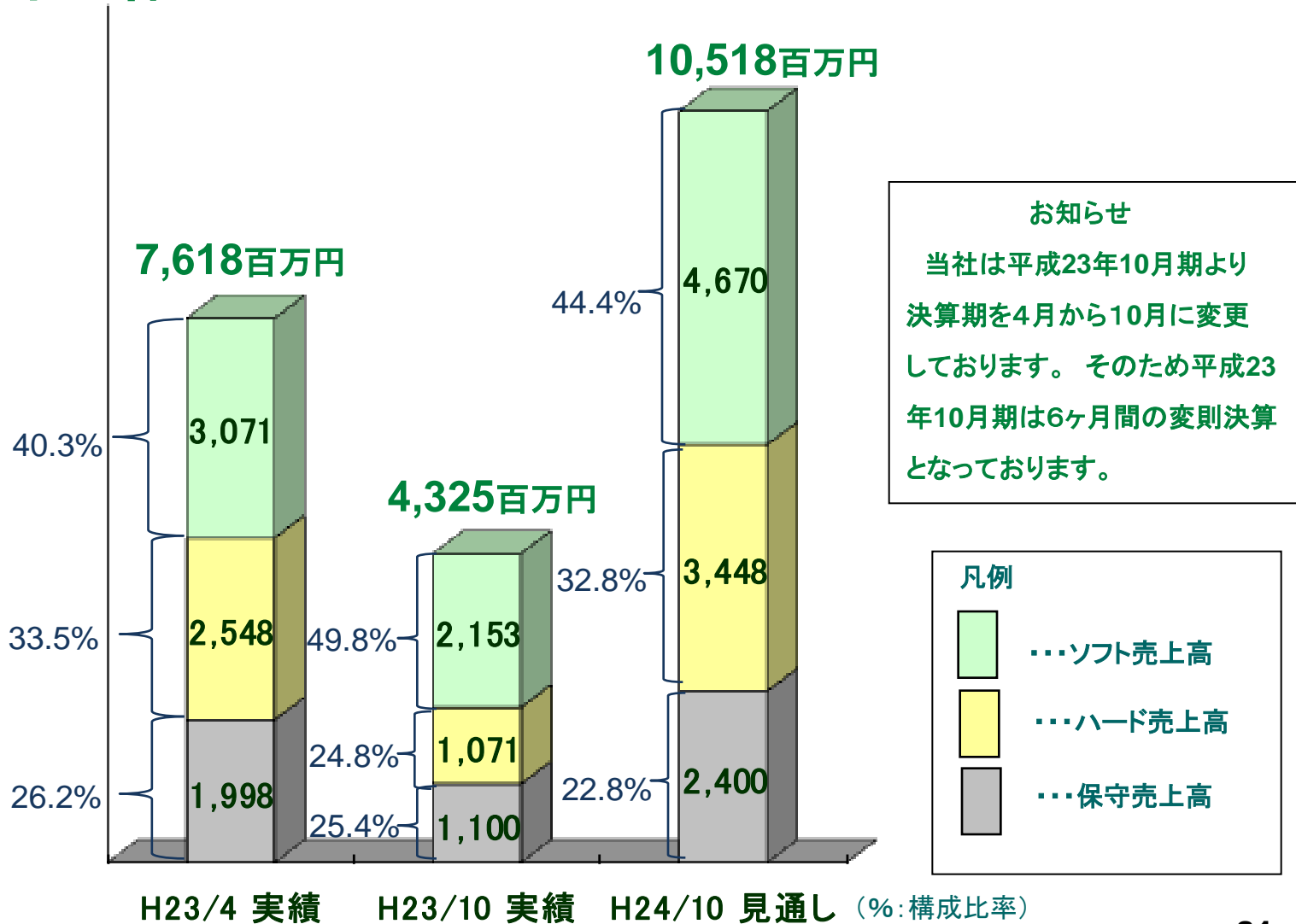
5. 平成24年10月期の業績見通し

業績の概要(実績及び見通し)

【単位:百万円】

	H23/4 実績		H23/10 実績		H24/10 見通し	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
売上高	7,618	100.0%	4,325	100.0%	10,518	100.0%
売上総利益	2,315	30.4%	1,362	31.5%	3,165	30.1%
営業利益	1,328	17.4%	886	20.5%	2,253	21.4%
経常利益	1,360	17.9%	892	20.6%	2,262	21.5%
当期純利益	797	10.5%	522	12.1%	1,357	12.9%
1株当たり 当期純利益	149円34銭	—	97円89銭	—	254円33銭	—

売上高構成比(実績及び見通し)

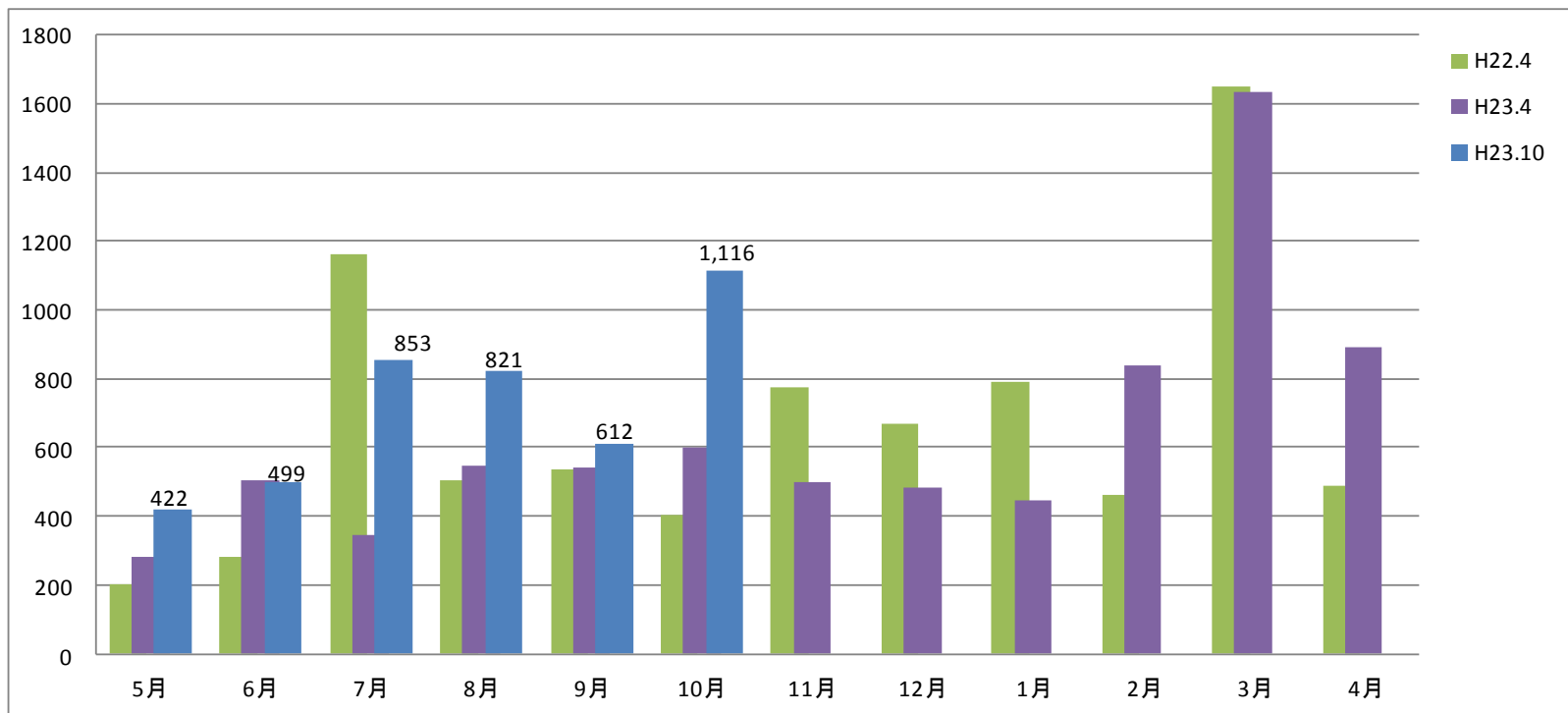


お知らせ
 当社は平成23年10月期より決算期を4月から10月に変更しております。そのため平成23年10月期は6ヶ月間の変則決算となっております。

凡例
 ● ソフト売上高
 ● ハード売上高
 ● 保守売上高

売上高の月次推移(実績)

(単位:百万円)

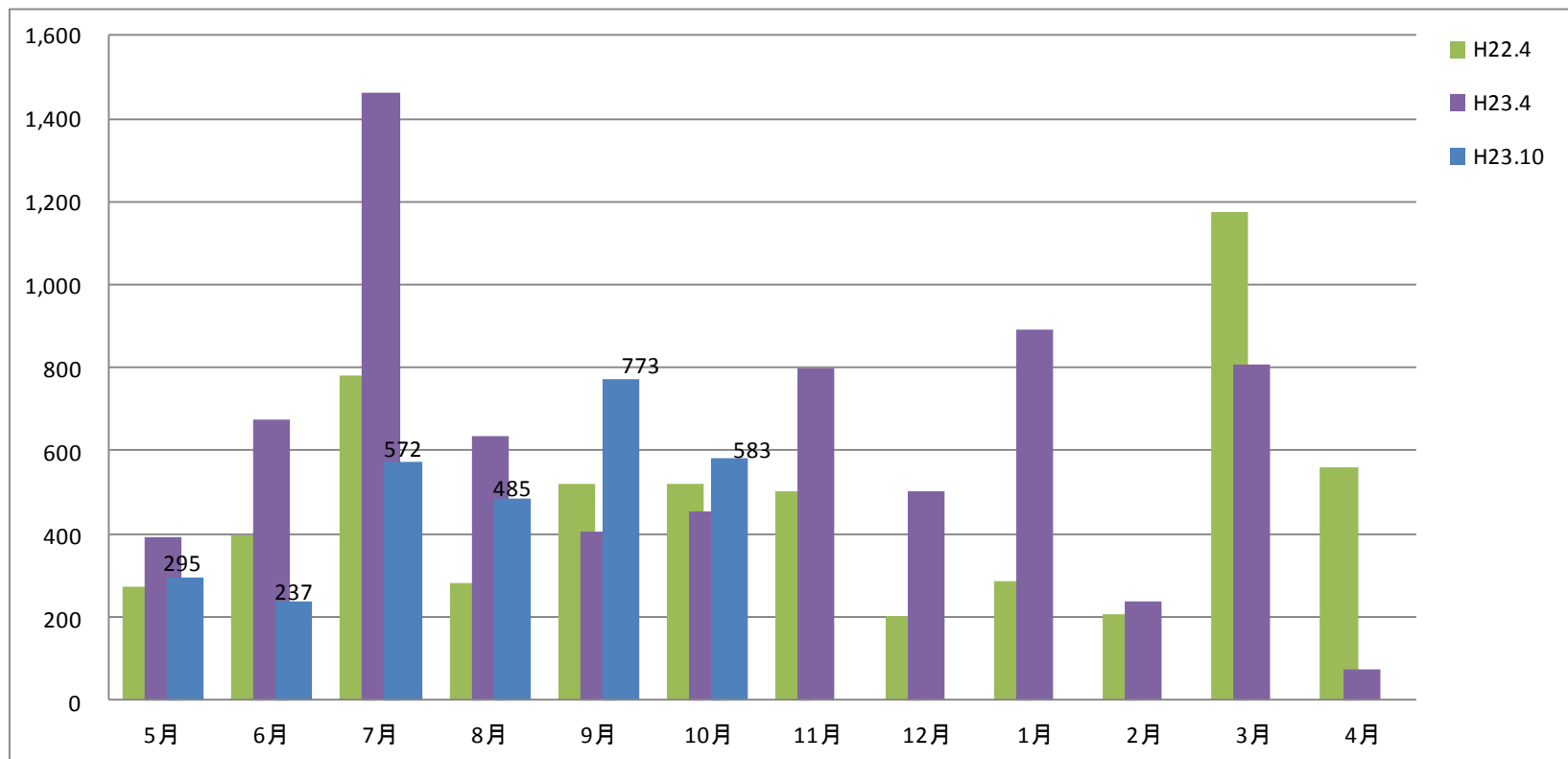


当社は平成23年10月期より決算期を4月から10月に変更しております。

そのため平成23年10月期は6ヶ月間の変則決算となっております。

受注高の月次推移

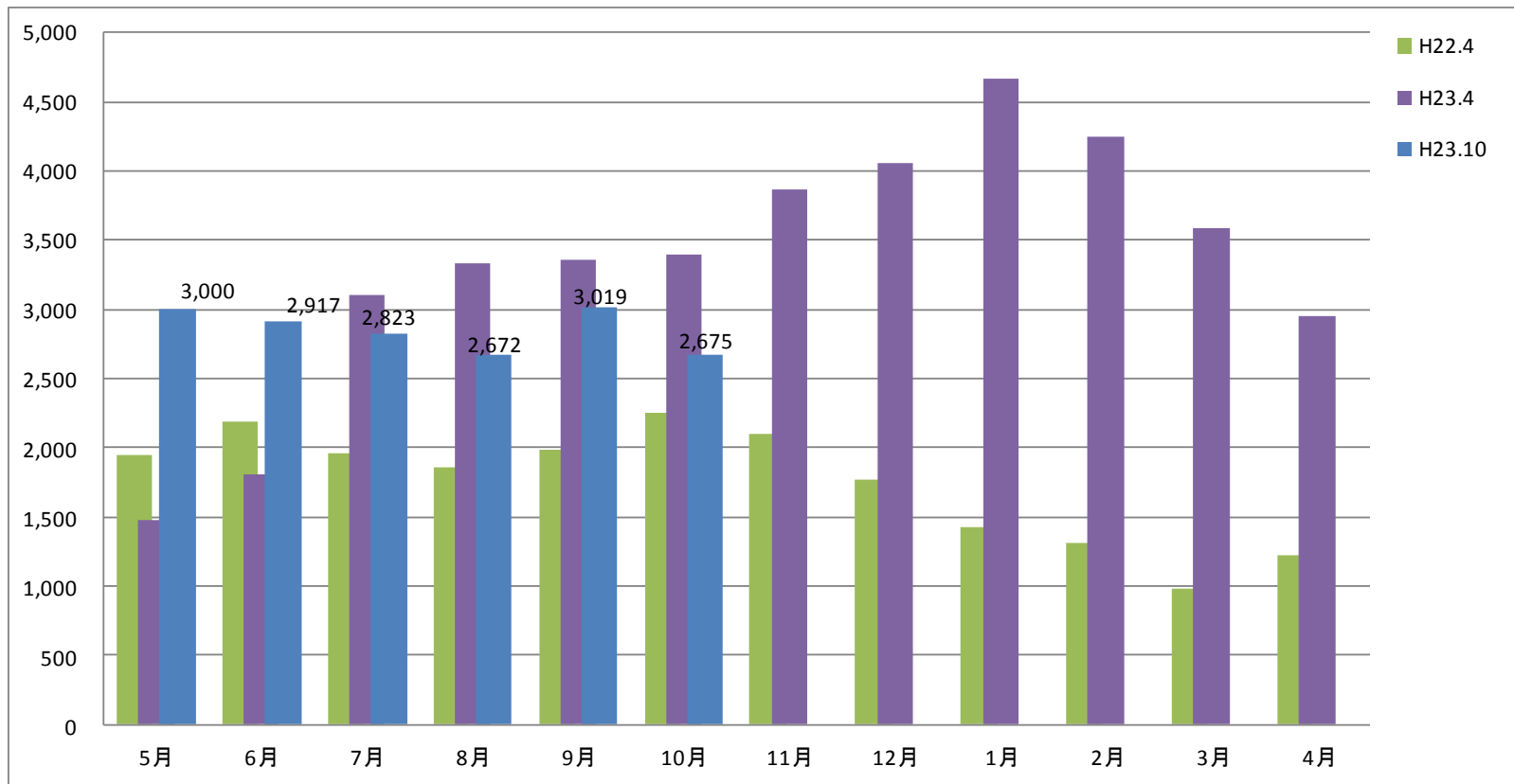
(単位:百万円)



当社は平成23年10月期より決算期を4月から10月に変更しております。
そのため平成23年10月期は6ヶ月間の変則決算となっております。

受注残高の月次推移

(単位:百万円)



当社は平成23年10月期より決算期を4月から10月に変更しております。
そのため平成23年10月期は6ヶ月間の変則決算となっております。

6. 質疑応答

ご清聴ありがとうございました。

株式会社ソフトウェア・サービス

代表取締役社長

宮崎 勝

経営管理部長

伊藤 純一郎